高田教区宗祖親鸞聖人750回御遠忌

御遠忌通信

ごえんきつうしん　第15号

高田教区 宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要

責任者：荷葉　一浩
編　集：御遠忌広報実行委員会
連絡先：真宗大谷派高田教務所
上越市寺町2-24-4　TEL:025-524-3913

御遠忌テーマ　私はどこで生きているのか　～たずねよう真宗の教えに～

儀式法要部会長に就任して

儀式法要部会長　楠田昌樹

この度、教区御遠忌推進委員会が立ち上がった当初からご尽力いただきました、故堀前恵裕氏の後任として儀式法要部会長に就任することとなりました。

当部会では、高田・新井両別院で厳修予定の教区御遠忌法要、並びに別座で厳修予定の高田別院大門落慶法要、新井別院本堂屋根修復落慶法要等に関わる儀式全般を担当し、法要次第、タイムスケジュール等もほぼ決定させていただきました。現在、中日（4月22日）の記念大会に予定されております音楽法要について詰めているところです。

式次第決定後、高田・新井両別院を会場に、交互に月一回のペースで「御遠忌声明講習会」を実施しておりますが、参加者は外陣方（列座※1・准堂衆※2）ばかりで、一般内陣出仕者の参加者が少ないのが現状です。声を出す外陣方中心の習礼となりますが、内陣出仕予定者も調声※3、巡讃※4（八淘※5・十淘）、和讃本の扱い等、ニーズに合わせた講習会を実施しておりますので、普段慣れていない作法に慣れる意味でも是非ご参加下さいますようお願いいたします。

また、各組で「正信偈（緑本）のお稽古」も始まり、ご門徒の教区御遠忌に対する意識も高まってきているように思います。そんな中で、団参に当たっている日が「緑本」を使わない日なのに「練習をする意味があるのか」という声を聞きました。御遠忌のためだけの「正信偈のお稽古」ではなく、真宗門徒として、この教区御遠忌を機縁に正信偈を修得する意義を改めて確認していただきたいものです。

あと一年数カ月後に迫った両別院で開催される教区御遠忌、教区人一丸で取り組み、無事円成することを願うところであります。

（※1）列座　…別院の儀式声明を担う者
（※2）准堂衆…本山の儀式声明を担う堂衆に准ずる資格を得た者
（※3）調声　…お勤めの際、主となり最初に声を発する者
（※4）巡讃　…内陣出仕者の内6名（又は3名）が一人ずつ、順番に和讃の一句目を発すること
（※5）淘　…当派では、二淘・三淘・五三淘・五淘・八淘・十淘・十二淘があり、法要の軽重により使い分ける

高田別院報恩講（2016年10月）

≪高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要≫　2018年4月18日～21日【高田別院】
4月23日～24日【新井別院】

第1回お待ち受け大会報告

◆第1・2・3組〔西部地区〕

2016年9月25日　於・第1組西性寺

【講　師】橋本　真氏（能登教区駐在教導）
【講　題】「私はどこで生きているのか～たずねよう　真宗の教えに～」
【副　題】「いつでも・どこでも・だれにでも」
【参加者】約60名
【要　旨】副題が成り立つのが念仏。しかし、私たちは時を選び、場を選び、人を選んでしまう。そして私自身こそが選ばれた者でありたいと欲している。このお待ち受けは、そのような我が身に気付く基点であり、そこから歩みをはじめる起点であり、そういう私が今を生きているという足元に帰る帰点である。
【所　感】お待ち受けとは何か。それは御遠忌をなぜ勤めるのかということであると同時に「今の私はどのように生かされているのか。私にまで伝わってきたお念仏の教えとはいったい何であるのか。」ということを確かめさせられているのだと考える。参加されたご門徒の方々からも、聞きやすく分かり易い話であったという声と共に、参加者の少なさをご指摘いただいた。ご門徒の方々にもご協力いただき、前回よりもたくさんの方々が聴聞されることを願う。

（繁原　立）

◆第4・5・8組

2016年10月29日　於・高田別院

【講　師】井上　円氏（第13組浄泉寺）
【講　題】「問いから始まる教え」
【参加者】173名
【要　旨】講題にある〝問い〟とは、今の自分を問う、そして思わずしてしまう、つぶやきのような問いである。その答え探しにおいて、我が身を通して考えることが大切であり、真宗の教えは問いが起点となる。
【所　感】3ヵ組合同の大会でスタッフ長を任され、果たして成功するのか不安で仕方がなかったが、実行委員長はじめスタッフに支えられ、終わってみれば課題は当然残ったが、次に繋がる心地よい大会になったと感じている。心地よさの要因は講師からの問いや、寺院とご門徒が一体となった正信偈の勤行、さらには来場者全員の声が響き渡った御遠忌ソング「なんまんだぶつの子守歌」の合唱が心に響いたからであろう。

（横山英一）

◆第6組

2016年11月8日　於・高田別院

【講　師】藤島　直氏（第1組圓照寺）
【講　題】「私はどこで生きているのか～たずねよう　真宗の教えに～」
【参加者】約100名
【要　旨】生活において、何のために生きるのかという問いにであい、身の事実と真向かいになればなるほど絶望しかないが、絶望の中に私を生かそうとするはたらきの声を聞くことの大切さ。宗祖も釈迦も七高僧も自分の前にいるのではなく、一人ひとりの人生を歩いて行けと後押ししてくれること。
【所　感】勤行は、正信偈のお稽古を受講された方々も多く、お稽古の時以上に声が揃い、御遠忌をいつ迎えてもいいと思うくらいの迫力。法話は、昨年の真宗講座の講師で、わかりやすいお話で笑いを誘っての講演。改めて教区御遠忌を迎えるにあたり、真宗門徒一人ひとりが、

このご縁に対して感謝し、寺院と門徒との関わり合いを真剣に考えていく良い機会であった。

（岸波敏夫）

◆第11・12・13組〔東部地区〕

2016年10月1日　於・安塚コミュニティプラザ

【講　師】鷲嶺紀文氏（第8組延壽寺）

【講　題】「私はどこで生きているのか～たずねよう　真宗の教えに～」

【参加者】159名

【要　旨】ここでいう〝どこ〟は場所であること。その場所は、時代を背景としている場所であること。そして、私たちはその場所で何を依り処に、どう生きているのだろうか。それは、本当に真宗門徒として生きているのかという問いかけでもある。

【所　感】講師は、高田教区御遠忌テーマを決めた委員会に所属され、講義から御遠忌に向けての願いが伝わった。それは、一人の真宗を拠り処とする門徒として自己を見つめるきっかけをいただいたように思う。この大会を通し、私たちが拠り処とする真宗の教えを今こうしていただくことができるのは、たくさんの方の支えによって成立していることを学ばせていただいた。真宗の教えをこれからも、門徒の方と一緒に大切にしていきたいと思う。

（岩崎　歩）

第2回お待ち受け大会情報（予定）

◆第1・2・3組〔西部地区〕

日時　4月15日（土）13時30分～16時

会場　第2組善正寺（糸魚川市大和川）

講師　橋本　真氏（能登教区駐在教導）

◆第4・5・8組

日時　4月29日（土）13時30分～16時30分

会場　高田別院

講師　祖父江佳乃氏（名古屋教区有隣寺）

◆第6組

日時　4月19日（水）14時～16時30分

会場　高田別院

講師　北條頼宗氏（第6組照行寺）

◆第7組

日時　5月8日（月）13時30分～

会場　新井別院

講師　四衢　亮氏（高山教区不遠寺）

◆第11・12・13組〔東部地区〕

日時　4月16日（日）14時～16時30分

会場　吉川多目的集会所（吉川区原之町）

講師　草間法照氏（三条教区勝覺寺）

高田別院大門御修復工事完了

このたび、高田別院大門御修復工事完了に伴い、1月11日に施工業者の北野・清水組特定建設工事共同企業体から、契約書通り完了したことを確認する工事引渡書が手交された。

部会・委員会等進捗状況

【儀式法要部会】
第14回　期日　２０１６年９月８日
　部会長の互選、音楽法要について協議。
第15回　期日　２０１６年12月19日
　稚児、音楽法要について協議。

【団体参拝計画小委員会】
第４回　期日　２０１６年11月15日
　団体参拝計画について協議。

【受入計画小委員会】
第１回　期日　２０１６年11月18日
　受入業務について協議。

【参拝部会】
第６回　期日　２０１６年12月13日
　受入計画について協議。

【教化部会】
第６回　期日　２０１６年11月17日
　お待ち受けの反省。和讃リーフレット②、御遠忌講師や表白の作成について協議。

【財務部会】
第９回　期日　２０１６年12月９日
　特別懇志、記念品、総予算について協議。

【常任委員会】
第14回　期日　２０１６年10月17日
　各部会の進捗状況について報告。

【広報実行委員会】
第27回　期日　２０１６年11月９日
第28回　期日　２０１６年12月21日
　御遠忌通信第15号の内容を編集。

＊＊完納御礼＊＊

高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌懇志金をご進納いただき誠にありがとうございます。

ここに、ご完納いただきましたご寺院名をご披露し、お礼にかえさせていただきます。

第１組　廣傳寺
第２組　來遊寺　東浄法寺
第３組　明了寺　本廣寺　大泉寺　浄念寺
第４組　西勝寺　慈圓寺　敬音寺
第５組　覺真寺
第６組　蓮受寺
第７組　速念寺　道因寺　慶樂寺　覺願寺　福因寺　法泉寺
第８組　長念寺　浄音寺
第11組　寶惠寺　高源寺
第12組　明善寺　延慶寺　光圓寺　教念寺　敬泉寺
第13組　照專寺

（２０１６年９月１日～12月31日）
以上28ヵ寺

なお、右記を含め12月31日現在の完納寺院は２０４ヵ寺でございます。またそれ以外にも61ヵ寺から懇志金をご進納いただいており、収納総額は２億１０９５万３６００円（御依頼額の82・９％）です。

御遠忌グッズ販売中！

各ブロックお待ち受け大会、その他行事等、または教務所窓口で販売しております。大口注文は注文用紙をご利用下さい。（御遠忌特設サイトでもダウンロードできます）

ひと休み

今回は各ブロックで行われた、御遠忌お待ち受け大会について報告しています。初めての試みでもあり、スタッフの皆さんのご苦労が感じられます。そして、各講師による御遠忌テーマを題とした講義により、そのテーマのねらいが徐々に浸透していくのではないかと思います。今後第２回、３回と続きますが、さらにそのことが深まっていくことでしょう。このお待ち受け大会は当然御遠忌へ向けてのものではありますが、御遠忌円成後の、将来の教化方針等を見据えての取り組みになっていくことが期待されます。本紙面でもその役割が少しでも果たせればと思います。（岩崎　修）